

エネルギー問題を解決しよう

信州大学教育学部附属長野中学校
3年D組 想田歩花

約83.0%

小学生がSDGsという言葉を知っている割合(2021年)

何故SDGsという言葉が広まったのか

学校の授業



テレビの報道



学校の授業では

SDGsについて知る

本当に解決しなければならぬ問題に目
がいていない

自分ができることについて考える

なかなか実行に移
せない

それらを実践してみる

自分がしている行動が
本当に成果になっているのかわからない

私が考える本当に解決しなければならない日本の課題

エネルギー問題

- ・ 電力ひっ迫
- ・ 資源の輸入
- ・ 火力発電に頼りすぎている
- ・ 枯渇性資源の使いすぎ
- ・ 電力の使いすぎ

エネルギー問題＝環境問題



何故エネルギー問題が本当に解決しなければならない問題なのか

- 1 電力供給のひっ迫による電気料金の高騰
- 2 火力発電時の二酸化炭素排出
- 3 資源の輸入時の二酸化炭素排出

→ 2・3による地球温暖化の促進

**個人にとっても地球にとっても
マイナス**

なのにも関わらず

危機感が足りなさすぎる！！！！



危機感を持つためには、、、



可視化する

可視化することのメリット

- 1 現状を把握することができる
- 2 目の前に目標が出来るのでその向けて行動を起こしやすい
- 3 自分たちの成果を知ることができる

具体的な提案

小・中学校にモニターを設置する

二酸化炭素の排出量・電気料金・使用量

(前日や先月との比)

それらを集計してホームページなどに掲載する

→他校の状況や取り組みを知ってもらう

行動に移すことで解決できる

可視化することで問題が見え、モチベーションが生まれ、行動に移すことができると思う

長野の小中学生が協力すれば大きな力になる

その橋渡しとしてこのモニター設置を検討していただきたい

～ご清聴ありがとうございました～